

令和6年5月7日

磐田市長 草地 博昭 様

磐田市議会議長 鈴木 喜文

ダイバーシティの推進に関する提言書について

少子高齢化、人口減少が進む時代においても、活力があり将来にわたって持続可能な地域社会を作ることが求められています。

そのためには、年齢や性別、国籍や障害の有無、性的指向・性自認、価値観、思想等の違いに関わりなく、誰もが生きがいを感じ、その能力を十分に発揮することができる、多様性が受容されるダイバーシティ社会の構築が必要です。

そこで、磐田市議会総務委員会では、令和5年度、所管事務調査事項である「ダイバーシティの推進について」調査・研究、協議を行ってきました。

このたび、それらを取りまとめ、議員協議会において報告、承認を得たところです。

つきましては、別記のとおり提言書として提出しますので、ご検討くださいますようお願い申し上げます。

ダイバーシティの推進に関する提言書

磐田市議会総務委員会は、令和5年度、所管事務調査事項である「ダイバーシティの推進」について、調査・研究を重ねてきた。

少子高齢化、人口減少が進む時代においても、活力があり将来にわたって持続可能な地域社会を作ることが求められている。

そのためには、年齢や性別、国籍や障害の有無、性的指向・性自認、価値観、思想等の違いに関わりなく、誰もが生きがいを感じ、その能力を十分に発揮することができる社会、すなわち多様性が受容されるダイバーシティ社会の構築が必要である。

こうした認識のもと、磐田市議会は、新たな時代へ向けて、本市のダイバーシティ推進の取組が確実に進展することを強く願い、下記のとおり提言する。

記

1 ダイバーシティを推進する意義を市民や企業等に分かりやすく伝えること

ダイバーシティの推進に取り組む背景・趣旨や多様な価値観、重要性が分かる指針が見える化するなどして理解を深め、広く市民や企業等に対して啓発を進めること。

2 ダイバーシティ推進にあたり、庁内の推進体制の見直し・強化を進めること

推進体制として、自治市民部自治デザイン課ダイバーシティ推進室を中心に、各課に担当を配置し、課長級が事業を積極的に推進するなど、全庁横断的なダイバーシティの推進体制を明確に構築すること。

また、将来的には副市長を中心としたトップダウンによる体制強化などを検討すること。

3 ダイバーシティ推進にあたり、静岡県、周辺市町、企業、教育機関等との連携強化を進めること

周知・啓発や各種イベント等の事業は、静岡県や周辺市町、企業、教育機関等と一層の連携を図り、効率化と効果の増大化を図ること。

4 人権啓発については、さらに分かりやすく、効果的に進めること

人権啓発を進めるにあたり、昨今の社会情勢へ対応した分かりやすい冊子等へまとめ、効果的に啓発・教育等を進めること。

5 多文化共生の取組の強化を図ること

本市は外国人人口が静岡県内で3番目に多く、ダイバーシティ推進の中でも、とりわけ多文化共生の「地域での共生」や「外国にルーツを持つ子供の教育支援体制」の取組を強化すること。そのために、各事業の所管部署が連携し、民間ボランティアによる支援やタブレット等情報機器の利用拡大を進めること。

以上